

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業・継続)

No. 571

事務事業名	上水道施設整備事業
-------	-----------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	大村市上下水道局		
課名	水道工務課		
課長名	間ノ瀬 佳朗	内線	53-1114
担当者名	山根 武士	内線	53-1114

基本目標	050304	機能的で環境と調和したまち
政策		快適で暮らしやすい都市環境の整備
施策		上下水道の整備
関連施策		

会計	大村市水道事業会計		
款	2, 4	水道事業費用, 資本的支出	
項	1, 1	営業費用, 建設改良費	
目	2, 1	配水及び給水費, 建設改良費	
事業コード			

事業類型	7	施設等整備事業(負担金含む)
個別計画	大村市上下水道事業 中期経営計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	上水道給水区域内の住民		
意図 対象をどのような状態にしたいか	上水道給水区域内の住民に、安全安心な水を安定供給するため、計画的に水道施設の新設・改良等を実施する。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	配水管敷設事業、配水管整備事業(老朽管敷設替)、配水管移設事業、浄水処理変更事業、新規水源開発事業等。		
事業期間	平成	年度 ~ 平成	年度
実施方法	直営、委託		

成果指標名	上水道区域内の配水管延長			算定式等	
着手前現状値	平成 16 年度	単位	Km		432.4
完了後計画値	平成 30 年度		463.6		

【DO(実施)】

事業実施項目	25年度まで	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
基本計画	実績・計画額							
	項目別進捗率							
実施設計	実績・計画額	111,840	9,072	14,912	17,198	5,000	9,500	
	項目別進捗率							
用地・補償	実績・計画額	6,481		9,499				
	項目別進捗率							
建設工事	実績・計画額	3,464,143	299,562	324,365	722,379	527,336	454,073	372,616
	項目別進捗率							
事務費等	実績・計画額		654	2,442	4,779	2,597	2,871	234
	項目別進捗率							
合計	実績・計画額	3,582,464	309,288	351,218	744,356	534,933	466,444	372,850
	項目別進捗率							

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	240,366	309,288	351,218	744,356	790,775	466,444	372,850	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債	71,740	210,094	252,421	325,200	224,400	180,800	174,000	
その他	26,739	16,652	32,861	143,882	129,692	61,533	4,789	
一般財源	141,887	82,542	65,936	275,274	436,683	224,111	194,061	
② 人件費(千円)	32,826	30,401	23,922	40,281	事業内容	事業内容	事業内容	B/C
職員人数(人)	4.03	3.89	3.17	5.07	配水管敷設 老朽管敷設 替	配水管敷設 老朽管敷設 替	配水管敷設 老朽管敷設 替	
時間外勤務(時間)	400	502	782	1706	配水管移設 等	配水管移設 等	配水管移設 等	
嘱託等人数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00				
フルコスト(①+②千円)	273,192	339,689	375,140	784,637				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	「上下水道事業中期経営計画」策定に伴い、配水管の老朽化による敷設替工事をH28年度からの5か年間に於いて拡充する計画であり、財源確保のために水道料金の改定(値上げ)を実施した。この計画策定において、配水管敷設事業、配水管整備事業(老朽管敷設替)については、配水管網の整備及び耐震管の敷設による安全性の向上を図り、より一層の安定供給に努める。また、引続き漏水事故の未然防止や水源確保等の事業にも積極的に取り組み、計画的な事業経営を目指す。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	配水管敷設事業、配水管整備事業(老朽管敷設替)は、配水管網の整備及び耐震管の敷設による安全性の確保や漏水防止のために必要不可欠な事業である。また、近年は自然災害が多発していることから、危機管理対応への見直しが検討されており、ライフラインである水道事業は被災箇所の復旧や応急給水など迅速な対応が望まれる。このため、緊急時に備えた施設を整備することから、必要性は非常に高い。						
有効性	【緊急性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	配水管整備は、漏水及び赤水発生を防止し、安心安全な飲料水を安定的に供給することが出来る。また、新規水源開発事業は、近年の渇水状況を踏まえ、緊急時の飲料水確保を目的とする重要な解決手段の一つであり、早急に整備しなければならないため、緊急性は高い。						
効率性	【施策成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	配水管整備により、安定供給が図られるとともに、漏水が減少し有収率向上が望める。また、新規水源開発事業により安定した水の供給が可能となる。						
コスト	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	設計におけるコスト削減については、「公共工事コスト削減対策大村市行動計画」等に基づき、より一層削減に努める。						
負担割合	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	各事業の成果は計画どおり徐々に上がってきており、当年度も引続き中期経営計画に沿って実施する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。